

令和7年度

「運営に関する計画」

(最終評価)

大阪市立長吉第二幼稚園

令和8年3月

大阪市立長吉第二幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人との関わりのもちにくさが課題である。地域の方との関わりでは、関わり方を状況に合わせて変えながら、心の交流が図れるように工夫し、直接的な交流が再開できたときにつなげていけるようにする。また、園内での異年齢交流を通し、人と関わる楽しさを味わえるようにしていく。
- 外出できる機会が減っている現状からも、子どもたちの体力向上に努めていく必要性を感じている。日々の園内での遊びに加え、地域の公園や園外保育なども活用しながら、存分に体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるようにしていく。
- 実態に応じ、必要な基本的な生活習慣が身につくよう、指導内容を工夫し、家庭と連携しながら、継続的に取り組んでいく。
- 教育環境の充実を目指し、教員研修を行い、就学前教育カリキュラム改訂版を活用し、資質向上に努める。また、教員間で幼児の実態把握や教材研究を行ったりしながら、子ども達が様々な活動に主体的に取り組むことができるよう、環境構成を行う。

中期目標

【安心・安全な教育の推進】

- 令和7年度末までに、保護者アンケートで、「幼稚園は、いろいろな人とのふれあいを大切にしている」の項目で、「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。
- 令和7年度末までに、保護者アンケートで、「幼稚園は、安全教育の推進に努めている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度末までに、保護者アンケートで「子どもは、すすんで体を動かしている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。
- 令和7年度末までに、保護者アンケートで、「子どもは、基本的な生活習慣を身につけている」の項目で、「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末までに、保護者アンケートでの項目で「幼稚園は、子どもが意欲的に遊べる環境づくりに努めている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安心・安全な教育の推進】

- 令和7年度の保護者アンケートで、「幼稚園は、いろいろな人とのふれあいを大切にしている」の項目で、「そう思う」「やや思う」を80%以上にする。
- 令和7年度の保護者アンケートで、「幼稚園は、安全教育の推進に努めている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の保護者アンケートで「子どもは、すすんで体を動かしている」の項目で「そう思う」「やや思う」を80%以上にする。
- 令和7年度の保護者アンケートで、「子どもは、基本的な生活習慣を身につけている」の項目で、「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の保護者アンケートで「幼稚園は、子どもが意欲的に遊べる環境づくりに努めている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

【安心・安全な教育の推進】

- 令和7年度の保護者アンケートで、「幼稚園は、いろいろな人とのふれあいを大切にしている」の項目で、「そう思う」が100%だった。異年齢での心のつながりを大切に保育をしたことで、年度末にはお互いに相手を思いやる気持ちや信頼といった深まりが感じられた。近隣の保育園や幼稚園小中学校、地域とのふれあいについても、その成果を保護者に伝えることで、保護者にもふれあいの大切さや良さを理解していただくことができた。
- 令和7年度の保護者アンケートで、「幼稚園は、安全教育の推進に努めている」の項目で「そう思う」が100%であった。子どもの発達段階に合わせた安全指導や、様々な想定での避難訓練を積み重ねたことで、子どもたちの安全意識が高まった。今後も継続し、保護者にも啓発していきたい。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の保護者アンケートで「子どもは、すすんで体を動かしている」の項目で「そう思う」「やや思う」が100%であった。異年齢のかかわりから刺激を受け、一緒に体を動かす楽しさを味わったり、新しい遊びに挑戦したりすることが多く、結果につながった。
- 令和7年度の保護者アンケートで、「子どもは、基本的な生活習慣を身につけている」の項目で、「そう思う」「やや思う」が100%であった。保健指導での視覚的な教材に加え、それを子どもが実際に手に取って遊べる環境を工夫したり、指導後はしばらくの間掲示したりしたことで、より、子どもの良い生活習慣の定着につながった。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の保護者アンケートで「幼稚園は、子どもが意欲的に遊べる環境づくりに努めている」の項目で「そう思う」が100%であった。四季の自然を保育に取り入れたり、視聴覚教材を取り入れた保育の工夫を保護者にも知らせたことで、成果につながった。

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標通りに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安心・安全な教育の推進】</p> <p>○ 令和7年度の保護者アンケートで、「幼稚園は、いろいろな人とのふれあいを大切にしている」の項目で、「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。</p> <p>○ 令和7年度の保護者アンケートで、「幼稚園は、安全教育の推進に努めている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>○ いろいろな人とのふれあいや交流を楽しみ、経験したことを活かしたり広げたりし、人との繋がりを大切に思う幼児を育てる。</p> <p>指標</p> <p>① 異年齢で関わる活動や遊びを職員間で話し合い、関わりが広がるような活動を月2回以上行う。</p> <p>② 近隣の小学校とさまざまな活動を通して年3回以上交流する。</p> <p>③ 幼児の実態に合わせ、地域の方との交流の仕方を工夫する。</p>	A
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全で安心な教育環境の実現】</p> <p>○ 年間計画に基づき、避難訓練や安全指導を行う。</p> <p>指標</p> <p>① 「警備及び防災計画」や「安全（防犯）対策マニュアル」に基づいた年間計画を作成し、避難訓練を年8回実施する。</p> <p>② 安全指導（降園指導、生活・交通・災害安全指導など）を年6回以上実施し、子どもや保護者に向けた安全指導を発達段階や実態に応じて行う。</p>	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>令和7年度の保護者アンケートで、「幼稚園は、いろいろな人とのふれあいを大切にしている」の項目で、「そう思う」が100%であった。</p> <p>① 年度当初に、各クラスの子どもの実態を把握し、職員間で共通理解した。今年度は3歳児に加え、4歳児にも新入園児が入園した。新しい友達のことを知ることができるようにクラス間を行き来して遊ぶことができるようにしたことや、担任間で毎週、保育の打ち合わせを行い、子</p>

どもの実態や遊びの流れから各クラス段ボールを使った遊びを楽しんだ。遊びが広がっていくように各保育室だけでなく、廊下や遊戯室などでも遊べるように場の環境の工夫を行ったことで、異年齢で一緒に遊ぶ時間が自然と生まれ、優しく接したり遊びを教え合ったりする姿が見られた。昨年度からの異年齢での関わりが土台となって年度当初から異年齢での自然な関わりが多くあった。また、園外保育では、異年齢で手をつないで電車に乗ることから、事前に一緒に安全指導やふれあい遊びをして、いろいろな友達と親しみがもてるように配慮した。園外保育後も、互いに誘い合って一緒に遊んだり弁当を食べたりする姿が見られた。全園児でのお別れ会では、当日に向けて3、4歳児と5歳児が互いに相手のことを思いながら準備やプレゼントづくりをした。これまでの日々の関わりや、共に過ごし親しみをもっていることから自然と相手のことを思う心が育ってきている。

- ② 長原小学校の5年生とは夏にプール交流（5歳児）、冬に凧揚げ（4、5歳児）を行った。継続して交流を行っていることで、5年生の優しさや温かさをを感じながら安心して様々な経験できた。3月には5歳児が学校見学をし、優しく迎えてもらうことの喜びを感じながら進学への期待につながった。長吉南小学校とは秋に作品展の見学（全園児）、冬に学校見学（5歳児）を行った。作品展は職員だけの参加予定だったが、子どもと共に見学できるか提案し、受け入れてもらった。小学生の絵画や作品を間近で見ること、より絵画や造形活動の興味へとつながったり小学生への憧れの気持ちが強まったりし、多様な交流ができるように今後も工夫していきたい。平野支援学校の小学生とは一緒に遊ぶ交流と文化祭練習を見せてもらう交流を行った。互いに興味のあるパラバルーンで一緒に遊ぶことを楽しんだり、ふれあい遊びを教えるもったりして少しずつ親しみをもっていく。文化祭練習では、頑張っている姿に自然と拍手をする姿や自ら感想や思いを伝える姿があった。交流後は子どもたちが感じたことを絵でかいたり話をしたりし、手紙にして届けた。何度も交流したことや交流の期間が近かったことで、子どもたちが感じる心の動きや親しみをもっている姿が見られた。
- ③ 保育所や幼稚園、老人ホームとの交流を行った。保育所との交流では園庭での好きな遊びのあと、一緒に体操やふれあい遊びをして親しみを深めることができた。近隣の幼稚園とは、秋と冬に2回交流を行った。5歳児は大きな舞台上で一緒に歌う経験をしたり、3、4歳児はふれあい遊びや弁当と一緒に食べたりして安心できる環境の中で交流を深めた。4、5歳児は高齢者の方々と交流し、歌を聴いてもらったり手遊びを一緒にしたりしていく中で、自分たちに温かく関わってくださる姿に心がほぐれていった。2月の訪問は園内の病気欠席の人数を踏まえて中止となったが、活動に期待をもっていたことから老人ホームの方々に向けてこれまでの感謝の気持ちなどを手紙にした。直接的な交流はできなかったが、相手のことを思ったり考えたりすることで心の交流ができた。地域の八百屋さんへ七夕のお供え物の野菜（5歳児）、もちつきで使うもち米（全園児）、お別れ会で食べるみかん（3、4歳児）を買いに出かけた。その時に持参した笹飾りの短冊や子どもたちの顔を見て喜んでくださった。やりとりをしながら買い物をする経験や、いつも見守ってくれている地域の方と関わる喜びを感じることができた。

取組内容②【基本的な方向1 安全で安心な教育環境の実現】

令和7年度の保護者アンケートで、「幼稚園は、安全教育の推進に努めている」の項目で、「思う」が100%であった。

- ① 「警備及び防災計画」や「安全（防犯）対策マニュアル」をもとに年間計画を作成し、避難訓練は、保護者引き取り訓練を含め計8回実施した。

1学期は、消防車が2回来園し、消防士との触れ合いを通して子どもの防災意識が向上した。毎回の課題を明確に積み重ねてきたことで、2月には自由な活動の場での避難訓練でも迅速に真剣な態度で安全に避難することができた。1月には、津波を想定した小学校との合同訓練では、小学校と打ち合わせを具体的にすることで、初めての3歳児も5年生がしっかりとリードして高層階まで安全に避難することができた。地震や不審者の避難訓練や保護者の引き取り訓練など、様々な訓練を経験として積み重ねながら安全への意識を育てることができた。

- ② 月1回、その時期に必要な安全指導を計画的に行うことができた。

4月 園庭の遊具の安全な使い方 横断歩道や信号について

5月 段ボールカッターやハサミの安全な使い方、交通安全（ペープサート使用）、親子遠足の事前指導(オリエンテーリングの遊び)

6月 傘の安全な使い方

7, 8月交通安全についての紙芝居や警察による交通安全指導 降園指導 消防署による花火の指導

9月 木工遊びでの釘や金づちの安全な扱い方（5歳児）交通安全の絵本読み聞かせ

10月 電車の乗り方や公共の場でのマナー

11月 乗り物の遊具や縄の安全指導

12月 大阪府警、平野警察署による防犯指導

1月 降園指導（門から出るときに飛び出さない）

2月 園外保育時の公共の場でのマナー

指導時に視覚物や実物を見せたことで、イメージしながらしっかりと聞くことができ、より意識が高まった。

次年度への改善点

取組内容①【基本的な方向2 豊かな心の育成】

- ・保護者も一緒に心を動かす体験ができるような保育参観を計画する。

取組内容②【基本的な方向1 安全で安心な教育環境の実現】

- ・引き続き、子どもの実態に合わせた避難訓練内容を工夫する。
- ・園庭開放時の安全面について保護者の意識が高まるように啓発する。

大阪市立長吉第二幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標通りに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○ 令和7年度の保護者アンケートで「子どもは、すすんで体を動かしている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。</p> <p>○ 令和7年度の保護者アンケートで、「子どもは、基本的な生活習慣を身につけている」の項目で、「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>○ 遊びを通して進んで体を動かす楽しさを味わえるような活動を工夫する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>① 子どもの実態に応じて体を動かして遊びたいようになるように遊具を精選し、環境や活動を工夫する。</p> <p>② 季節に応じた体操や遊びの年間計画を作成し、学期ごとに見直しを行う。</p> <p>③ 地域の公園や近隣校を活用し、広い場所で体を動かして遊ぶ機会を年5回もつ。</p>	A
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>○ 季節に合わせた保健指導を子どもの実態に応じて実施するとともに、保護者への啓発を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>① 季節や子どもの実態・発達段階に合った保健指導を月1回行う。</p> <p>② 保護者が子どもと一緒に健康的な生活習慣に関心をもてるようホームページで月2回以上発信する。</p>	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>取組内容①【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>令和7年度の保護者アンケートで、「お子さんはすすんで体を動かしている」の項目で、「そう思う」が93%「やや思う」が7%であった。</p> <p>① 週1回の打ち合わせを通して、子どもの実態を全教職員で把握し子どもの実態に応じた遊具を準備し遊びを展開していった。1学期から気温が高く戸外で体を動かすにくいことから、遊戯室</p>

の涼しい環境の中、全クラス集まって大型の積み木をつなげてサーキット遊びをして楽しんだ。その中で5歳児が率先して遊びを進めていき異年齢との関わりが広がっていった。5歳児が1学期の行事のお土産でもらったスキップボールで遊ぶ様子を見ていた3、4歳児も刺激を受け、手作りのスキップボールをつくって遊んだ。例年運動会のお土産に運動遊具を渡しているが今年度は1学期に渡したことでいつも以上に慣れ親しみ積極的に取り組み、また3、4歳児は自分でつくったことで愛着をもち、進んで取り組んでいた。運動会後も5歳児の姿を見て憧れの気持ちをもった3、4歳児が縄跳びや鉄棒・リレーなどに挑戦しできた喜びや達成感を友達と味わう機会が増えた。

- ③ 体操やふれあい遊びの年間計画に基づき見通しをもってクラスや集会で実施し、また、今年は幼稚園の60周年にちなんで、お祝いの曲で遊びやダンスを取り入れ、3クラスで関わって遊んだ。運動会では、1学期から計画的に体操やダンスを取り組んだことでどの子ども自信をもち主体的に参加した。運動会後も未就園児園庭開放や他園との交流時などにその遊びを披露する機会をもつことで一緒に遊ぶ楽しさにつながっていった。3学期には集会活動を取り入れ寒さに負けない体づくりができる様に取り組んだ。1月の参観で保護者の方にも体操・マラソンに参加していただき親子で触れ合いながら体を動かす楽しさを経験することができた。
- ④ 地域散歩3回・園外保育を3回実施した。地域散歩では公園の大型遊具を経験でき、また、グラウンドではかけっこや鬼ごっこなど体を目一杯動かして遊ぶ楽しさを味わうことができた。今年度も長原小学校の5年生と2回交流をした。夏には5歳児がプールに冬には4、5歳児が運動場でたこあげや校庭遊具の遊びを経験し幼稚園とは違う環境で意欲的に取り組む姿となった。

取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】

令和7年度の保護者アンケートで、「子どもは、基本的な生活習慣を身につけている」の項目で、「そう思う」が96%「やや思う」が4%であった。

- ① 毎月、子どもの実態や課題を担任と共有しながら、子どもの発達段階に合わせて保健指導を行った。指導内容や進め方を担任と考えて指導案を作成し、指導後には反省を記録することで、次の指導につなげた。生活習慣を整える指導（4月手洗い、5月歯みがき・歯と口の健康、1月姿勢について）、季節・時期に合わせた指導（7月熱中症対策、9月けがの予防、11月かぜ予防、12月感染症対策、2月早寝早起き）、食育（7月噛むことについて）生命の安全教育（6月プライベートパーツについて、プール前指導、10月ふわふわ言葉とちくちく言葉）など視覚教材やイラスト、模型を作成し、子どもが興味や関心をもって取り組めるよう工夫した。クイズやロールプレイングなど子どもが体感できる指導を取り入れたり、保健指導後も触って遊べるように視覚教材を保健室前のホワイトボードに掲示したりした。また、11月のかぜ予防の保健指導後には、手洗い場の天井にうがいのイラストを掲示し、指導内容を継続して振り返りができるようにしたりしたことで、楽しんで学ぶことができた。
- ② 毎月のほけんだよりに加え、保健室前のホワイトボードに保健指導で利用した視覚教材を掲示し、保護者が保健指導の内容に関心をもてるよう工夫した。また、ホームページに保健指導の様子やその後の子どもの姿を掲載することで、幼稚園での取り組みを園外部へ伝えている。6

月の昼食参観後の保護者講話では、毎月行った保健指導の内容を伝えた。特に生命の安全教育について、子どもたちだけでなく保護者の協力や理解も必要だと感じたため、取り組みや絵本の紹介などを通し重点的に伝えた。12月の終業式後の保護者会では、10月に行った「ふわ言葉とちくちく言葉」の保健指導の内容を伝えた。実際に使った視覚教材を見せながら子どもたちの反応や答えを保護者に伝えることができた。

次年度への改善点

取組内容①【基本的な方向5 健やかな体の育成】

- ・教材研究を行い、新しい体操や2人組でできる遊びの種類を増やしていく。
- ・新しい室内遊具を購入したので活動の幅が広がるよう活用していく。

取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】

- ・今後も子どもの課題や発達段階を考えながら、子どもが楽しめる保健指導を行う。(実際に子どもがつくったり考えたりできる取り組み、視覚教材の工夫など)
- ・ホームページへの掲載や保護者への講話を継続し、幼稚園での様子や取り組みを更に知ってもらえるようにする。

大阪市立長吉第二幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標通りに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ○ 令和7年度の保護者アンケートで「幼稚園は、子どもが意欲的に遊べる環境づくりに努めている」の項目で「そう思う」「やや思う」を85%以上にする。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ○ 子どもの実態把握に努め、就学前教育カリキュラム改訂版を活用し、「遊びの中の学び」に着目した環境を工夫する。	A
指標 ① 「遊びの中の学び」が見られるような環境について、週1回以上教員間で検討する。 ② 子どもが園内の自然に興味や関心がもてるよう、栽培物の年間計画を活用しながら、野菜や果物、果実などにふれる機会を月2回以上もつ。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

令和7年度の保護者アンケートで「幼稚園は、子どもが意欲的に遊べる環境づくりに努めている」の項目で「そう思う」が100%であった。

①毎週木曜日、保育計画の打ち合わせを行う際に『就学前カリキュラム改訂版』『世界を拓くになにわっこ』を活用し、子どもが遊びの中から学んでいるとはどんな場面であるかを話し合い次の保育の展開につなげている。また、学びが見られた場面の実践記録やドキュメンテーションを作成し検討会を行っていることが教師の指導力向上にもつながっている。

視聴覚教材（テレビ）を通して、1学期は、季節に合った生き物（カタツムリ、ザリガニなど）2学期は、造形遊びを題材にした番組を視聴したこともきっかけで、探求心が広がり「やってみよう、試してみよう」という様子が見られるようになってきた。

5歳児では、園庭にできた自分の影を見つけ、いろいろな形を表現して遊んだり、生活発表会で劇の中に影絵遊びを取り入れたりすることを楽しんだ。

各クラスに一台ずつカメラを用意したことで園庭の植物や友達の遊んでいる様子などを子どもたち自身が写したりして遊んでおり、身近な道具を遊びに活かし興味を広げる姿がある。

③誕生会に季節の花や果物を飾ったり、玄関には子どものつくったものの中に季節の花や実を交えて飾ったりしていることで子どもと保護者の方が一緒に四季を感じ、共感しあう場となっている。カラスのエンドウで笛をつくって鳴らしたり、サツマイモのツルで綱引きや縄跳びをしたりと、園庭の自然を存分に遊びに活かしたりしている。また、カタツムリ、ザリガニ、バッタ、コオロギなどを飼育し大切にしようとする気持ちをもつとともに製作や歌唱、表現遊び等さまざまな遊びに発展させている。

冬野菜（ダイコン、コマツナ、ハツカダイコン、シュンギクなど）を植え、水やりをして成長を楽しみにしている。また、ハツカダイコンはポットに種を植え、少し芽がでた頃にプランターに植え変えをしたことも生長の様子を見るきっかけとなった。

次年度への改善点

- ・引き続き遊びの中の学びとその要因を探りながら、環境や援助の在り方について職員間で話し合い、保育に生かしていく。